

議会だより たのはた

No.
133
2022.11.15
岩手県田野畑村議会

9 月定例会

- 2 特集 水産振興を考える
- 4 第4回定例会議案を紹介
- 5 ここが聞きたい！一般質問

みんなの力を一つに

10月22日、真木沢網と2丁目網では、網起こしをして島の越漁港に入港。この日は、サケ、ワラサ、シヨッコなどを水揚げしました。



浜の活気を再び！村の水産振興の取り組み

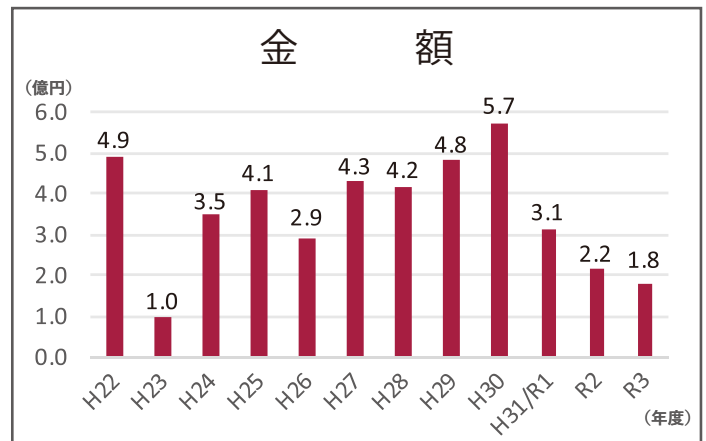
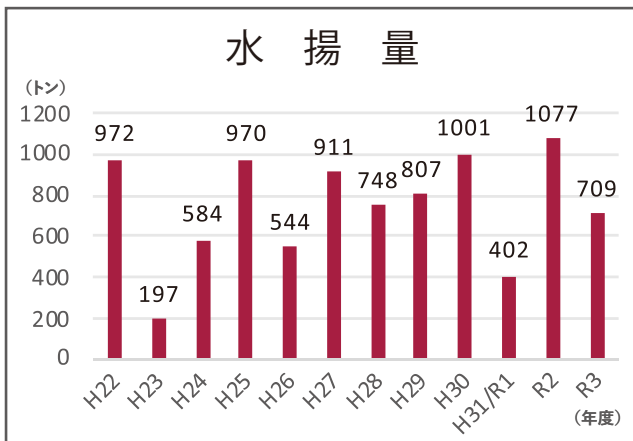


水産業は、村の重要な産業の一つですが、近年はサケ漁の不振が続き、磯焼けの深刻化など水産業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

村では、村産ワカメのブランド化や、磯焼け対策としての藻場再生などに取り組んでいます。

村の水産振興の取り組みや現場の声などを取材しました。

村の水揚高（サケ、アワビ、ウニ、ワカメの合計）



聞かせて！現場の声

村のワカメを広めたい



三浦 太知さん
(43・島越)

若い人が増えてほしいです。そうすれば、もっと活気が出てくると思います。そのためには収入がないと。海が好きただけではできません。

美味しいと言われる村のワカメをもっと広めたいです。ワカメのブランド化がうまく進むことを期待しています。

若い人が増えてほしい



佐々木 博文さん
(79・切牛)

サケを専門にやっていますが、魚が不足しています。前はすごいとれていましたが、今は数えるくらいです。若い人が入ってこなくて大変。そのためにも漁があつて、金になるようになればと思います。

担い手不足が課題

田野畑村漁業協同組合
参事 有谷彦氏

村の漁業については、担い手の不足が課題です。第一次産業に魅力を持って、組合員として加入してくれる担い手が増えることを願っています。

ワカメのブランド化については、協議会に参加し、漁業者の収益向上に繋がればと模索しています。

藻場再生については、駆除と開口が一緒になるように、今年はウニの開口回数を増やしてみました。ウニは駆除したほうが、アワビの為にも、藻場再生の為にも良いことがはっきりしました。

ナマコ放流などは、水揚げが若干増えているので、今後に期待しています。



村の主な取り組み

●村産ワカメのブランド化

村産ワカメの価値を高め、生産者の働き方改革も目的とし、今年8月に推進協議会を設立。関係者が連携し、ブランド化に向けた方策を検討します。

●藻場再生プロジェクト

磯焼けは深刻さを増しており、藻場で育つアワビの不漁は深刻。藻場再生が急がれています。アワビやナマコの稚貝放流を継続し、藻場形成対策も実施しています。

令和3年度からプロジェクトとして実施し、令和5年度までの予定としています。

近隣市町村の主な取り組み

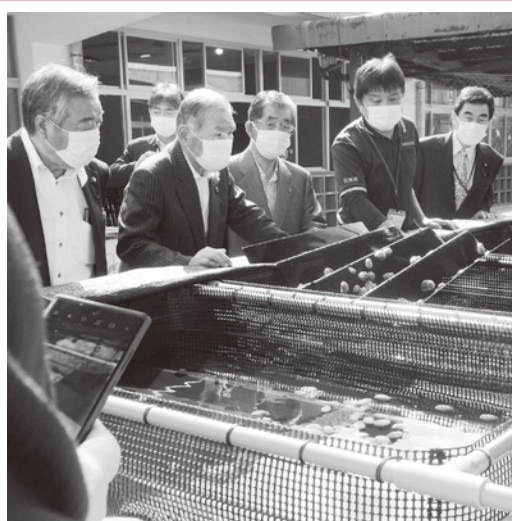
●おおつち里海ダイビング

大槌町では、藻場再生活動に触れる「おおつち里海ダイビング」が今年初めて開催されました。

磯焼けが深刻化する中、大槌町観光協会が、この問題に広く関心を持ってもらおうと企画。再生事業の拡大や継続につなげようとしています。

●ご当地サーモン養殖

県内の各漁協は近年、養殖事業の取り組みを進めています。「宮古トラウトサーモン」や「久慈育ち琥珀サーモン」など。久慈育ち琥珀サーモンは、漁協が平成31年にギンザケの試験養殖を開始し、令和3年に漁業権を取得し事業化。このほか、山田町や大槌町でも事業化が進んでいます。



アワビ陸上養殖施設を視察する様子

三重県南伊勢町

クロアワビ養殖に挑戦の町

東部町村協議会議長会（鈴木隆昭会長）は、先進地視察の一環として10月18日、三重県南伊勢町が挑戦するクロアワビ陸上養殖の実証事業を視察しました。

同町の取り組みは平成28年度からスタート。三重大学と共同で飼料を開発（特許申請中）し、約4年間の飼育に成功（平均殻長7センチ）しました。

しかし、一方では想定以上のコストがかかることも判明しました。同町では、実証事業で得られた成果と課題を検証した上で、養殖事業は昨年いったん終了。現在は中間育成に重点を移しています。

令和3年度決算を認定

9月
定例会



ナラ枯れ対策として伐倒くん蒸をしている様子。
被害木の根元には細かい木くずが落ちているのが特徴(写真左下)

第4回定例会が、9月9日から9月15日までの会期で開かれました。村長提案の報告1件、承認1件、議案4件は、原案どおり可決・承認。追加で、同意案1件を可決しました。一般質問は、4人の議員が登壇し、村の姿勢を質問しました。

また、令和3年度各会計決算の審査は、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会（委員長・中村芳正議員）を設置して行われ、最終日の本会議でいずれも認定しました。

令和3年度決算

- 一般会計 歳出総額55億3848万円、執行率87・0%
 - ・ 起立全員で認定
 - 国民健康保険特別会計
 - 事業勘定 歳出総額5億7606万円、執行率95・5%
 - 直営診療施設勘定 歳出総額1億135万円、執行率97・3%
 - ・ 起立全員で認定
 - 簡易水道特別会計 歳出総額1億7135万円、執行率92・2%
 - ・ 起立全員で認定
 - 集落排水特別会計 歳出総額4725万円、執行率89・2%
 - ・ 起立全員で認定
 - 下水道特別会計 歳出総額2953万円、執行率92・8%
 - ・ 起立全員で認定
 - 介護保険特別会計
 - 保険事業勘定 歳出総額5億2280万円、執行率96・3%
 - 介護サービス事業勘定 歳出総額1086万円、執行率92・5%
 - ・ 起立全員で認定
 - 後期高齢者医療特別会計 歳出総額3778万円、執行率92・3%
 - ・ 起立全員で認定
- ※各決算の執行率は、予算現額に
対する歳出総額の割合です。

議決した主な議案など

- 令和3年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

令和3年度の健全化判断比率は次表のとおりです。実質公債費比率（※）は8・5%で早期健全化基準25・0%を下回りました。

比率名	令和3年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	8.5%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%
※比率が算定されなかった場合は「—」を記載している		
- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国の例に準じ、非常勤職員の育児休業などの取得要件の緩和などについて、所要の改正をすること。
- 令和4年度一般会計補正予算（第3号）

1億9888万3千円を追加し、総額を36億9751万3千円とするもの。
- 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

（※）一般財源に対する公債費（借金）の割合。18%を超えると県知事の許可が必要

ここが聞きたい！ 一般質問

【事業勘定】202万1千円を追加し、総額を5億9241万3千円とするもの。

【直営診療施設勘定】101万6千円を追加し、総額を1億1492万1千円とするもの。

●令和4年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

【保険事業勘定】766万9千円を追加し、総額を5億4319万7千円とするもの。

【介護サービス事業勘定】39万4千円を減額し、総額を998万3千円とするもの。

人事案件

●教育委員会委員

熊谷勤己いそみ氏の任命に同意。任期は、令和4年10月1日から4年間です。

討論（令和3年度決算）

賛成

上村浩司 議員

安心安全な村づくりに向けた施策内容に

取り組むべき課題も多い中、総合計画などに基つき、安心安全な村づくりに向けた施策の内容を鑑み、賛成する。

次のページは

ここが聞きたい！ 一般質問

質問議員	質問項目
上山 明美	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症とフレイル対策 ◆部活動の地域移行 <p>(その他の質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民懇談会（①各地区から提起された中で、早急に取り組む必要がある課題や事業②懇談会での意見などは、どう村政に反映させるか） ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）ほか4件
中村 勝明	<ul style="list-style-type: none"> ◆協会けんぽと国保税を比較した場合、国保税が約2倍になる。村としての把握と、今後の国保税の見通し ◆水田活用直接支払交付金の見直しに伴う村内農家への影響 <p>(その他の質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内における直近の新型コロナウイルス感染者数と今後のワクチン接種の見通し ・コロナ禍における原油価格、物価高騰などに対し、第一次産業、村内事業者への対策と支援策 ほか4件
佐々木 芳利	<ul style="list-style-type: none"> ◆畜産、酪農家対応 ◆ふるさと納税の寄付実績と希望の高い返礼品の傾向 <p>(その他の質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農用地の利活用
佐々木 功夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆選挙公約の達成率 ◆ナラ枯れ病の対策

(一般質問のうち、各議員2項目を抜粋し掲載しております。)

認知症とフレイルの把握方法は

村長 --- 介護認定調査、介護予防事業が主となる



上山 明美議員

【問】村の認知症とフレイル対策について伺う。(①把握方法と人数②予防策)

【村長】①把握方法は、介護認定調査、介護予防事業が主となる。人数は、認知症高齢者が約150人、フレイルが約40人。正確な人数把握は難しい状況だが、来年度以降は高齢者保険と介護予防を一体的に行う事業の中で活用する「国保データベースシステム」で実態に近い把握が可能になる。
②地区巡回のはつらつ教室や栄養教室、歯科検診、パワーリハビリテーションなどを行っている。

【問】公立中学校の部活動を地域団体や民間事業者に委ねる「地域移行」をどう考えているか。

【教育長】休日の部活動の移行実現に向け、文部科学省や県教育委員会の動向を伺い、具体的な取り組み内容や推進計画を策定する。運営団体の組織化、人的配置や運営方法など、関係者と連携・協議し改革を進めたい。

水田活用直接支払交付金の影響は

村長 --- 耕作放棄地や離農者の増加が懸念



中村 勝明議員

【問】高すぎる国保税について、協会けんぽと保険料の年額を試算すると、標準モデルで盛岡市の場合、国保税が約2倍である。村としての把握と今後の国保税の見通しは。

【村長】標準モデル(夫婦とも39歳以下、就労者が1人、就学児の子どもが2人の4人世帯で年収400万円)で資産割の平均値を加えた場合、村の国民健康保険税は年額33万2558円。協会けんぽより約13万円高く、約1.6倍の水準となっている。今後は適正な税率水準を維持し、県が進める保険料統一化や医療費の推移を見極め、被保険者の負担を抑えるよう努めたい。

【問】水田活用直接支払交付金(※)の見直しについて、村内農家への影響をどう把握しているか。

【村長】令和3年度は、18名が370万円余りの交付金を受けている。交付金がなくなると、耕作放棄地や離農者の増加が懸念される。県や他市町村と連携し、引き続き要望活動を行っていく。

ふるさと納税に対する寄付実績は

村長 --- 8月末時点で475万9千円



佐々木 芳利議員

【問】ふるさと納税への返礼品贈呈が始まり9カ月が経過した。①寄付実績は②希望の高い返礼品の傾向は。

【村長】①返礼品を希望した寄付金が、開始以降8月末時点で475万9千円。このほか、返礼品を希望しない寄付金もあり、この期間の田野畑むらづくり基金への寄付総額は725万4950円。
②一番人気が村産業開発公社の「たのはた牛乳・ヨーグルトセット」で全体の約4割。その他の乳製品も比較的多く選ばれている状況となっている。

【問】畜産、酪農家は、飼料、肥料、燃料価格の高騰、初生子牛価格の暴落など、経営の危機にある。国、県の動向を踏まえ、村の対応策は。

【村長】3回目となる「農林水産物安定生産支援補助金」を今回の補正予算案に上程した。今後も国・県の動向を踏まえ、近隣町村と情報交換を図り、村としての支援策を検討していく。

(※) 水田を活用して、麦、大豆、飼料用米、米粉用米などの作物を生産する農業者に対し、交付される国の制度

海岸部のナラ枯れ病に対策は

村長 --- 伐倒くん蒸や立木くん蒸を実施



佐々木 功夫議員

【問】村長に就任し一年が経過した。選挙公約の達成率の状況は。

【村長】実施済の事業は、出産祝い金としてエンゼル祝金の創設、小・中学校の給食費の無償化、ふるさと納税返礼品の実施。また、村民懇談会の各地区開催も、自治会の活性化を図る一環として行った。

その他主なものは、認定こども園を来年4月に開設予定。田野畑ワカメのブランド化は、8月に協議会の設立準備会を開催し、今後具体策を検討する。道の駅の経営安定や第三セクターの健全経営に向けて、新型コロナウイルス対策交付金などを活用し、商品開発などを実施。進行中の取り組みが多く、達成率の把握は困難であり、ご理解いただきたい。今後、具体的な成果を順次お示ししたい。

【問】海岸部にナラ枯れ病が発生し、深刻な状況。対策はどうか。

【村長】伐倒くん蒸や立木くん蒸を実施してきた。今後も国や県の補助事業制度を活用し、村でも補助制度の創設を検討したい。

9月定例会で決まったこと

議案等番号	議案名等	審議結果
報告第1号	令和3年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
承認第1号	専決処分した事件の承認について(令和4年度田野畑村一般会計補正予算(第2号))	承認
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	令和4年度田野畑村一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第3号	令和4年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第4号	令和4年度田野畑村介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
認定第1号	令和3年度田野畑村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和3年度田野畑村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和3年度田野畑村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和3年度田野畑村集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和3年度田野畑村下水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和3年度田野畑村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	令和3年度田野畑村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
同意案第1号	田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意

田野畑村議会政務調査会 県外研修視察

村議会政務調査会（佐々木芳利会長）は、10月5日から6日まで、宮城県と福島県を視察してきました。今回の目的は、「役場庁舎の建設」と「特色ある道の駅運営」の先進事例を調査するためです。

庁舎建設は、東日本大震災で被災した宮城県の南三陸町と福島県の国見町役場。道の駅は、国見町の「あつかしの郷」などです。



国見町役場庁舎の議場を視察する様子



宮城県南三陸町の道の駅「さんさん南三陸」に併設する震災伝承館「南三陸 311メモリアル」



南三陸町の菅原副議長から説明を受ける様子

視察研修を終えて

庁舎建設に向けての第一歩として、宮城県・福島県に視察に行ってきました。

建設予算は、同程度には難しいかと思いますが、大変参考になるものでした。

皆様のご意見を伺いながら、よりよい庁舎建設に向けて努力していきたいと思えます。
(佐々木 芳利)

今年はウニが例年になく口開け回数が18回と多く開きました。
本県のウニ漁は、数量金額ともに東日本大震災以降で最高となりました。
ウニが海藻を食べ尽くして餌不足となる「磯焼け」。この磯焼け対策は自然相手で難しいと思いますが、藻場再生が進み、アワビの量がとれるようになり、漁業者の収入向上に繋がることを期待します。けがをしないように、安全第一で操業をお願いします。
また、ワカメのブランド化も前に進むことを期待します。

(広報公聴常任委員会
委員 佐々木 功夫)

編集
後記

議会を傍聴
しませんか

次の定例会は、
12月上旬に
開会予定です。